

1年 年間授業時間数 : 52 時間

2年 年間授業時間数 : 35 時間

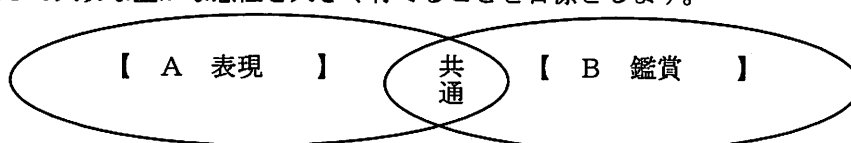
3年 年間授業時間数 : 35 時間

学習目標

- 1 美術の表現や鑑賞活動に積極的に取り組み、心豊かに生活できる感性や態度を育てる。
- 2 対象をじっくり観察し、感性や想像力を働かせ、その良さや美しさを感じ取る力を育成する。
- 4 用途や目的にあった美術的表現を考え、自分の想像したことを具体的に作品に表す思考力・判断力・理解力を高める。
- 5 様々な表現技法に興味・関心を持ち、個性豊かに創意工夫しながら表現しようとする意欲を育てる。
- 6 作品を鑑賞し、作品に表された作者の意図や心情、良さや美しさ、作品の働きを感じ取る力を育てる。

『美術』は自分をA表現（①純粋芸術：感じ取ったことや考えたことなどを基本に、絵画や彫刻などに表現する分野 ②応用芸術：伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動）と、自分や他者の表現したものの良さや美しさを感じるB鑑賞という分野があります。

このA表現とB鑑賞の二つの分野を通じて、自分自身を見つめ、他者を理解しようとする力をつけること、そして生涯を通じて大切な豊かな感性を大きく育てることを目標とします。



第1学年の目標(何ができるようになるのか)

育成する資質・能力

- 1 鉛筆を使い、対象や事象について見たものの感じたことを造形的に表すことができる。 [知識・技能]
- 2 色の性質を理解し、混色や表現方法の工夫を自分なりに行うことができる。 [思考力・判断力・表現力]
- 3 自然の中の造形や美術作品などのよさや美しさを自分の言葉で表現し相手に伝えと同時に、相手の考えや感じたことに興味関心を持ち、心情を汲み取り、理解しようとすることができる。 [学びに向かう力・人間性]
- 4 表現活動を通じて発想や構想を練り、工夫を重ねながら作品を完成させることの喜びを感じることができる。 [思考力・判断力・表現力]

第2学年の目標

育成する資質・能力

- 1 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、自分の意図に応じて表現方法を考えることができる。 [学びに向かう力・人間性] [知識・技能]
- 2 自然の中の造形や美術作品の良さや美しさの仕組みを探求し、自分の表現の中に取り入れることができる。 [思考力・判断力・表現力]
- 3 私たちの生活の中にある機能美と洗練された美しさの調和を感じ、美術の働きについて考えることができる。 [学びに向かう力・人間性] [思考力・判断力・表現力]
- 4 形や彩色の性質、それらがもたらす感情効果を理解したうえで計画的に作品づくりに活用することができる。 [知識・技能]

第3学年の目標

育成する資質・能力

- 1 作品を作るために自ら課題を生成し、積極的に自分の表現に創意工夫を重ね作品を完成することができる。 [学びに向かう力・人間性] [思考力・判断力・表現力]
- 2 材料の特性を理解し用具の使い方を身に着けるだけでなく、必要に応じて自分の意図をよりよく表現するために活用することができる。 [思考力・判断力・表現力] [知識・技能]
- 3 表現及び鑑賞の活動を通じて自己実現の目標を持ち、造形的な見方や考え方を豊かに育むことができる。 [思考力・判断力・表現力] [知識・技能]

学習方法（どのように学ぶか）

- 1 事前に本時の目標を理解した上で、教材の内容・テーマについて解説を聞き理解する。
- 2 教師の発問に答えたり、生徒同士で話し合ったりして教材の理解を深める。【対話的な学び】
- 3 理解した内容や、習得した技術を用いて、主体的に表現する。【主体的な学び】
- 4 自己や他者の表現した作品を鑑賞し、話し合いや発表を通じて理解する。【深い学び】
- 5 授業の振り返りで、学習内容を再確認し、今後の課題を見つける。

評価の観点・方法

観点① 知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し創造的に表している。 [知識及び技能] [学びに向かう力・人間性]			
観点② 思考・判断・表現	・それぞれの題材に対し、感性や想像力を働かせ豊かに発想し、良さや美しさなどを考え心豊かに創造的な表現の構想を練り課題を解決している。 ・感性や想像力を働かせ自分や他の人が表現した作品等をじっくりと鑑賞し、作品の良さや工夫を理解することが出来ている。 [思考力・判断力・表現力] [学びに向かう力・人間性]			
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・感性や造形感覚を働かせ、素材や表現技法を理解し、自分の表現意図に応じて創意工夫し、創造的な表現を効果的な方法で行うことが出来ている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。[学びに向かう力・人間性]			
評価の方法\観点		①	②	③
授業観察		○	○	◎
ワークシート・提出物		◎	◎	◎
作品・授業内テスト		◎	◎	○
定期テスト		◎	◎	○

学習のアドバイス

- ・課題内容をしっかり把握し、何を学ぶのか考えて制作に取り組みましょう。
- ・いろいろな作品を参考に、様々な方向から考えをめぐらし、表現の内容や方法を工夫しましょう。
- ・作品の制作に使用する用具の扱いには十分気をつけ、安全且つ丁寧に扱うことを心がけましょう。
- ・課題は必ず提出日までに完成できるよう計画的に取り組みましょう。
- ・日々の生活の中にある美術を意識してみましょう。

第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：美術 1（開隆堂）

副教材：感じる表す 美術 東京都版（浜島書店）

	具体的な学習到達目標 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	〔思考力・判断力・表現力〕（通年） - 身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高める。 - 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付ける。 〔知識及び技能〕（通年） - 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ることができる。 〔学びに向かう力・人間性〕（通年） - 他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。	オリエンテーション 鑑賞 （1）作品鑑賞 表現（絵・彫刻） 「描く活動」 （1）デッサン 彩色 表現（デザイン・工芸） 鑑賞 「描く活動」 （1）レタリング （2）色について （3）色彩構成	
2 学 期	〔知識及び技能〕 - 形や色彩などの表現を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫すること。 〔思考力・判断力・表現力〕 - 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて表現の構想を練ること。 〔学びに向かう力・人間性〕 - 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。	表現（デザイン・工芸） 鑑賞 「造る活動／描く活動」 （1）伝統美術の鑑賞 （2）作品制作 （3）伝統模様 （4）作品展示と鑑賞 表現（絵・彫刻） 鑑賞 「造る活動」 （1）素材を活かした作品づくり	
3 学 期	〔思考力・判断力・表現力〕 - 主題などを基に、全体と部分との関係などを考えて創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 - 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表現することができる。	（2）作品鑑賞 表現（デザイン・工芸） （1）素材の特性を知る	

第2学年の学習内容

教科書：美術 2・3 (開隆堂)
副教材：感じる表す 美術 東京都版 (浜島書店)

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	〔学びに向かう力・人間性〕(通年) - 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通した国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。 〔思考力・判断力・表現力〕(通年) - 対象を深く見つめ、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。 〔知識及び技能〕(通年) - 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。	オリエンテーション 表現(絵・彫刻) 鑑賞 「描く活動」 (1) デッサン (2) 技法練習 (3) 色彩(トーン) (4) 作品制作 鑑賞 (1) 作品鑑賞 (2) 美術史	
2 学 期	〔思考力・判断力・表現力〕 - 対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴、想像したことなどを基に作品を制作する。 〔学びに向かう力・人間性〕 - 美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。	表現(絵・彫刻) 鑑賞 「描く活動」 (1) 動きを描く アニメーション 表現(デザイン・絵) 鑑賞 「描く活動」 (1) 様々な表現 (2) 作品制作	
3 学 期	〔学びに向かう力・人間性〕 - 使用する者の気持ちや機能、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。 〔思考力・判断力・表現力〕 - 伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かした表現の構想を練ること。 〔学びに向かう力・人間性〕 - 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、見方を深め、作品などに対する自分の価値意識を言葉で表現したり、共感したりすること。	表現(デザイン・絵) 鑑賞 「造る活動」 (1) 素材を活かした作品づくり (2) 相互評価 (3) 遠近法	

第3学年の学習内容

教科書 : 美術 2・3 (開隆堂)
副教材 : 感じる表す 美術 東京都版 (浜島書店)

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	〔学びに向かう力・人間性〕(通年) ・対象を深く見つめ、感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出すことができる。 〔思考力・判断力・表現力〕(通年) ・テーマについて理解を深め、独自の発想を探り、伝えたい内容にふさわしい作品形態や構成、配色や言葉を考えて表すことができる。 〔知識及び技能〕(通年) ・身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めること。	オリエンテーション 表現 (デザイン・工芸) 鑑賞 「描く活動」 (1) ポスターデザイン 鑑賞 (1) 作品鑑賞 (2) 美術史	
2 学 期	〔思考力・判断力・表現力〕 ・作者の気持ちや発想、造形的な美しさなどを総合的に考え、作品が作られた背景を探求していくことで、作品理解を深める。 〔知識及び技能〕 ・伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、発表活動の構想を練ること。 〔知識及び技能〕 ・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。	表現 (絵・彫刻) 鑑賞 「描く活動」 (1) 作品の技法研究 調べ学習 (2) 主題の生成 (3) 作品づくり (4) プレゼンテーション (5) 展示 鑑賞 評価 表現 (デザイン・工芸) 鑑賞 「造る活動」	
3 学 期	〔思考力・判断力・表現力〕 ・美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。	(1) 暮らしの中のデザイン (2) 紹介カードの作成 (3) 立体作品作成 (4) 鑑賞 評価	